

テーマ	対象者	具体的内容
<p>疾病特性/障がい特性による相談や支援への繋がりにくさ</p>	<p>本人 ご家族</p>	<p>精神科特有のネガティブなイメージを持たれやすい/病状によっては命に関わるリスクがある</p>
<p>治療に関すること</p>	<p>本人 ご家族</p>	<p>受診へのハードルが高い/心療内科・精神科などの違いが分かりづらく伝えにくい/本人の受療意欲が揺れることがある</p>
<p>ご家族への支援・配慮が必要</p>	<p>支援者 ご家族</p>	<p>家族へのサポートも要することが多い/本人と家族の思いが違うことも多い/家族ごとのそれぞれの歴史や習慣があり変容が難しい</p>
<p>支援者が感じる困難さ・心強さ</p>	<p>地域住民 支援者</p>	<p>見守りしてくれる地域も数多くある/支援者間での情報共有ツールがない</p>
<p>関係性構築の困難さ</p>	<p>支援者</p>	<p>障がいによる固有の世界観を支援者が理解するのに時間がかかる/症状・服薬の影響により関係性が揺れやすい</p>

1.課題の背景	精神障がい（疑い含む）のある方への支援が、点在しており、 包括的な支援が届きにくい 。また支援者同士でも捉え方や視点の違いがあり、葛藤が生まれやすい。 精神障がいの特性により支援者が疲弊しやすい面もある 。
2.提案施策の目的	支援者同士で顔の見える関係づくり、連携の強化。 支援者の知識・支援力の向上。
3.提案施策の内容	定例会合の実施。 継続した場により安心して連携できる関係性の維持と強化。
4.提案施策の対象者	精神障がいにも対応した包括的支援に関わる支援者。
5.期待される効果	支援者への効果： 孤立感・抱え込みの軽減、知識・支援スキルの向上、感情的疲弊の軽減 。
6.経費が必要と思われる項目	事例検討会のスーパーバイザー謝礼金。
7.施策実施後の検討課題	他の事業との棲みわけ。

1.課題の背景

精神障がい（疑いも含む）の特性やイメージから、ご本人やご家族が悩みを抱え込みやすいというえ、地域住民にとっても相談への心理的ハードルが高くなりやすい。時間の経過とともに、孤立や生活困窮などの複合的な課題につながりやすい。

2.提案施策の目的

精神障がい（疑いも含む）への理解を正しく広めることで、ご本人・ご家族や地域住民が早期に相談しやすくなる、安心して支援が受けられる地域を目指す。

3.提案施策の内容

精神障がい（疑いも含む）について、地域住民が理解を深められる機会の設定。

4.提案施策の対象者

- ①精神障がいの理解に関心のある地域住民、民生委員、自治会関係者等
- ②心の健康に不安を抱える方やそのご家族

5.期待される効果

相談しやすい環境が整い、課題解決に繋がるケースが増えることで困ったときに頼れる安心感が地域に生まれる。

6.経費が必要と思われる項目

地域住民の理解を深めるための場の設定に要する費用

7.施策実施後の検討課題

住民が理解を深め、地域が多様な存在を受容できる、且つ当事者の方々が自分らしく生活できる土壌になるまで時間を要する。